

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) ころとからだのしくみ	授業の種類 (講義)	授業担当者 澤田 美奈子	
授業の回数 60コマ	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1、2年通年	講師の実務経験 (有) ・ 無
[授業の目的・ねらい] ・ 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習 [授業全体の内容の概要] ・ 解剖学・生理学・運動学・心理学などをもとに、人が生活するうえでころとからだはどのようにはたらくのか習得を図る。 ・ 介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる知識の習得を図る。 ・ 国家試験を見据えた問題を授業内で出題し、單元ごとに振り返りを行う。 [授業修了時の達成課題 (到達目標)] ・ 人のからだがどのように成り立っているかを学習し、生きているしくみを理解できる。 ・ ころとからだのしくみを理解し、介護実践に関連づける知識を身に着ける。 ・ 日常生活動作に必要な身体構造と機能、心身の機能低下について理解できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1 『健康』について考える 2 からだのしくみの理解 身体各部の名称・骨格について 3 人間の欲求について 4 からだのしくみの理解 脳について 5 学習・記憶・思考のしくみ 6 適応のしくみ 7 小テスト (1～6回の授業振り返り) 8 からだのしくみの理解 各神経系・自律神経について 9 からだのしくみの理解 感覚器について 10 からだのしくみの理解 呼吸器・循環器について 11 からだのしくみの理解 ホルモン・血液について 12 からだのしくみの理解 消化器について 13 からだのしくみの理解 泌尿器について 14 介護福祉士に必要な薬の知識について 15 前期授業振り返り・まとめ 16 からだのしくみの理解 骨・筋肉について① 17 からだのしくみの理解 骨・筋肉について② 18 移動に関連したからだのしくみ 19 心身の機能低下が移動に及ぼす影響 20 移動についての変化の気づきと対応			

- 2 1 身じたくに関連したからだのしくみ
- 2 2 心身の機能低下が移動に及ぼす影響
- 2 3 食事に関連したところとからだのしくみ
- 2 4 心身の機能低下が食事に及ぼす影響
- 2 5 食事での変化の気づきと対応
- 2 6 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ
- 2 7 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響
- 2 8 入浴時の変化の気づきと対応
- 2 9 後期授業振りかえり
- 3 0 移動での医療職との連携
- 3 1 食事に関連したからだのしくみ
- 3 2 身体機能の低下が食事に及ぼす影響
- 3 3 食事での観察ポイント
- 3 4 入浴・清潔保持に関連したところのしくみ
- 3 5 入浴・清潔保持に関連したからだのしくみ
- 3 6 身体機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響
- 3 7 入浴が身体に及ぼす負担・観察ポイント
- 3 8 正常な排泄・排泄に関連したところのしくみ
- 3 9 排泄に関連したからだのしくみ
- 4 0 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響
- 4 1 身体機能の低下が排泄に及ぼす影響
- 4 2 排泄での観察ポイント
- 4 3 前期助行に関連した国家試験問題について
- 4 4 前期振り返り
- 4 5 前期まとめ
- 4 6 休息・睡眠のしくみ
- 4 7 心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響
- 4 8 睡眠での観察ポイント
- 4 9 『死』のとらえ方について
- 5 0 『死』に対するところの理解
- 5 1 終末期・死後の身体機能の特徴
- 5 2 終末期における医療職との連携
- 5 3 視聴覚教材『死生観について』
- 5 4 視聴覚教材『死生観について』
- 5 5 ところとからだのしくみ 国家試験対策
- 5 6 ところとからだのしくみ 国家試験対策
- 5 7 ところとからだのしくみ 国家試験対策
- 5 8 ところとからだのしくみ 国家試験対策
- 5 9 ところとからだのしくみ 国家試験対策
- 6 0 後期振り返り・まとめ

<p>[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版 こころとからだのしくみ</p>	<p>[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) 定期試験及び授業態度、出席率を加味し、 総合的に評価する</p> <p>評価基準は評価記入用紙による</p>
---	--